

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。長かった梅雨、相次ぐゲリラ豪雨など、異常気象が続いています。明らかに地球温暖化の影響が出てくる気がします。

地球温暖化対策に熱心だったのは米国のゴア元副大統領。しかし、米国は京都議定書の枠組みには参加せず、実際の地球温暖化対策にはあまり熱心ではないようです。CHANGE(チェンジ)変化)を合言葉にして当選したオバマ大統領には、米国の地球温暖化対策もCHANGE(チェンジ)してほしいものですね。

ところで、CHANGE(チェンジ)の「G」を「C」に入れ替えるとCHANGE(チャンス)好機)に変わります。米国だけでなく、総選挙を間近に控えた日本も、そして世界も、CHANGE(チェンジ)が必要な難題や難局をCHANGE(チャンス)に替えていく努力が必要です。

です。

よく考えてみれば、「G」というアルファベットの文字は、「C」に「T」を足すと「G」になりますので、逆に言えば、「G」から「T」を引くと「C」になります。ジヤイアantzからタイガースを引くとカープになる：ではないです。つまり、CHANGE(チェンジ)から「T」を取り除くとCHANGE(チャンス)に替わります。では、取り除くべき「T」は何でしょうか。それは、TABOO(タブー)だと思います。

TABOO(タブー)とは、「そんなことは決まっている」「そんなことはできっこない」「そんなことに触れてはだめだ」という「御法度」「禁制」「聖域」というような意味です。

CHANGE(チェンジ)を要求されている難題や難局

を乗り越えるためには、「そんなことできっこない」と言っているのはCHANGE(チャンス)に転換できません。国民の皆さんが選挙で政権を選ぶなんて、「そんなことできっこない」「選挙に行ってもどうせ何も変わらない」「誰がやっても一緒」「公約なんて信じない」といったTABOO(タブー)を取り除かないと、日本をより良い方向に転換することはできません。

総選挙は八月三〇日。国民の皆さんが下した審判に従って、政治家と官僚が真摯に仕事をするのが、CHANGE(チェンジ)を要求されている日本がCHANGE(チャンス)に転換する原動力になります。さあ皆さん、選挙に行きましょうー!!

※

耕平



かわら版執筆者 大塚耕平

1959年生まれ。日泰寺の地元、田代小学校、城山中学校を卒業。その後、旭丘高校、早稲田大学をへて、日本銀行に18年間勤務。2001年から参議院議員。現在2期目。地元の覚王山に事務所を開き、故郷 覚王山の地元振興と歴史・文化遺産の継承・復興のために「弘法さんかわら版」を執筆しています。今年で足かけ8年目。

日銀時代に母校の大学院博士課程を修了(学術博士)。現在は早稲田大学と中央大学大学院の客員教授も務めています。

毎月21日、覚王山日泰寺は

「弘法さん」

「かわら版配り」ボランティア募集!

21日の8:40~10:30頃山門へおいでください。

お問い合わせ: 052(757)1955 大塚耕平事務所(黒田/佐久間)

「チェンジ(変化)の
チャンス(機会)!!」

CHANGE
からTを
取れば...

8.30

CHANGE